

大垣北高関東同窓会会報

第41号

令和3年10月8日発行
大垣北高関東同窓会事務局
東京都中央区日本橋小網町
18-20-1005
TEL.03-3941-1612

【目次】

| | | | |
|--------------------|---|---------------------|---|
| ご挨拶・・・・・・・・・・ | 1 | ビデオメッセージ・・・・・・・・・・ | 3 |
| 第43回総会・懇親会記念写真・・ | 1 | 母校(北高)の近況・・・・・・・・・・ | 4 |
| 大石会長を偲んで・・・・・・・・・・ | 2 | 令和3年(第45回)総会のご案内・・ | 4 |
| 新卒業生歓迎会・・・・・・・・・・ | 2 | あとがき・・・・・・・・・・ | 4 |

ご挨拶

長引くコロナ禍の中、皆様にはご心配な日々をお過ごしのことと存じます。感染状況も少し収まってはおりますが、本年も総会・懇親会を皆様ご出席での開催は難しい状況で、書面総会としてご案内させて頂いていただくこととなりました。一日も早いコロナ感染の終息を心より願うばかりです。

そのような中、オンラインにて毎月幹事会を実施してきました。前回の会報にて、本同窓会の今後のあり方として、「世代を超えて、進学就職を通じて地元を離れ、関東に在住する大垣北高OBの応援団となり、本校へ逆アピールしていくべし」との提案があることをご報告いたしました。会員間の広範な議論はこれからですが、「新卒業生歓迎会」開催と「在校生へのビデオメッセージ」作成を実施いたしました。今後も継続・発展させて頂きたいと存じます。

さて、誠に残念で悲しいご報告ですが、六年間にわたって会長として本会を牽引していただきました大石アケミ様(北高十回生)が本年三月に急逝されました。長年のご尽力に感謝するとともに、心からご冥福をお祈りいたします。

以上の詳細を当会報の記事といたしました。ご高覧の上、引き続き本会へのご参加・ご支援をお願い申し上げます。

なお、後任会長は本年総会にて選出することとなりますが、それまで会長代行として努めることとなりましたので、よろしくお願い申し上げます。

令和三年十月

会長代行 福澤賢治(北高二十七回生)



第43回大垣北高関東同窓会総会・懇親会 (R1.11.19・四ツ谷主婦会館プラザエフ)

大石会長を偲んで



【本同窓会での経歴】

大石アケミ会長(北高十回生)は二〇一四年に、渡邊三鶴前会長(北高六回生)の急逝を受け会長に就任されました。以来六年間、二〇二〇年の第四十四回総会で四期目続投をお願いしたばかりでした。世代交代とコロナ禍で今まで通りの会の運営が難しくなる中でも、リモート環境も習熟され、持ち前のポジティブさで会を引っ張って来られました。『私はこういう、母校に恩返しできることをしたかったのよ』とビデオメッセージの完成を心待ちにしておられる矢先の急逝でした。

【思い出】

私と大石会長が、親しくお話しするようになったのは、平成二十六年、鹿児島県寮の学生達を案内して、大垣市みどりの村公園に宿泊していた時、彼女から驚きの一声がありました。

「大変々々、渡辺会長が亡くなられたのよ！」突然の訃報！急遽副会長の大石さんが会長に……。



「大垣城がビジュウ(麋城)というのを知らないと言いやがった。北高の会長が女で良いのか」。集会の席で面と向かって私に言う人もいましたが、何を言われてもどこ吹く風。「私はわたし」大石さんの達観した姿勢は立派でした。彼女が大垣北高唯一の国体選手(水泳)だった事、ご主人が上皇様のご学友で当時の皇太子殿下とダンスをされたお話等々。

岐阜県学生会館の庭に根尾の薄墨桜が移植されているのを知り、毎年何人かでお花見に出かけて下さいました。

白石周子(北高十七回生)

合掌

新卒業生歓迎会

本年六月十九日に新卒業生歓迎会を行いました。昨年はコロナ禍の下、開催することができなかったので二年ぶりの開催となりましたが、今年も対面で行う状況ではなく、オンラインによる歓迎会でした。進行役は三和裕美子が行い、首都圏の大学に通う学生七名(一九年卒三名、二〇年卒二名、二一年卒一名)と、社会人五名、そして北高の鈴木彰校長先生にも、ご多用の中、本校からご参加いただきました。

まず、三和からのミニ講義では、学生さんに向けて『ゆっくり、いそげ』の著書、影山知明さんの国分寺のカフェの紹介をしました。ここは、東京という都会で、またコロナ禍の下、人と人とのつな



がりをあまり感じられない社会において、地域通貨などを通して、人を手段化しない経済を目指すカフェとして知られています。

その後、一人ひとり「二十四時間以内にあった幸せ、嬉しいこと」について発言し、各々の日常の喜びを共有するなど、和やかな雰囲気での会でした。

最後に、鈴木校長先生から、現在の北高生の様子についてお話がありました。コロナ禍で昨年は文化祭も体育祭も中止になるなど、生徒には我慢を強いている状況ですが、今年には我慢を強いる範囲で行いたいということでした。

ビデオメッセージ

大垣北高は、二〇一四年から五年間、国からグローバル・リーダーを育成する「スーパーグローバルハイスクール」に指定され、国際舞台での活躍を念頭に置いた教育を行ってきました。二〇一九年からはその理念を継承した「地域共創フラグシップハイスクール」に、新たに岐阜県から指定されています。

この間、北高ではアジア諸国でのフィールドワークやグローバル企業の視察を重ね、生徒たちは確実に視野を広げてきており、今後も一層の探究活動の推進を企図しているところです。北高のOBには国際的に活躍されている方が多くいるので、その先輩方の話の話を聞く機会を設けることも探究活動の活性化につながると学校は考えていました。しかし先輩方に北高で講演してもらった場合、日程調整等が煩雑なことや、昨春からはコロナ禍に見舞われたため、北高での講演会を開催できる目途が立たなくなりました。

そうした中、所功先生(北高十一回生)が退官されるにあたって母校に何かしたいと北高に申し出られたことから、昨年八月末に北高の増田俊彦校長(当時)と関東同窓会でリモート会議を行いました。

席上、北高からはグローバルに活躍する人材がいる関東同窓会に講師の選出が依頼され、IT技術をフルに活用したりリモート講演会を実施し、収録した動画をインターネットを介して北高に提供して

進路指導の教材として活用する事で意見が一致し、ビデオメッセージプロジェクトが始まりました。

二〇二一年三月には全生徒にタブレットが貸与され、本格運用が始まる予定だったため、それまでの半年間に数本のビデオメッセージを制作しなければなりません。コロナ禍で自由に動けない中、ITに詳しい幹事に引っ張って頂き、毎月リモート会議を開催し、約束通り二〇二一年二月に六本のビデオメッセージを北高にお届けすることができました。

進路指導の教材としてビデオメッセージを視聴した生徒たちには、同じ中学出身の先輩が様々な挫折を経て築いた経験談に刺激されたようで、とても多くの反響がありました。

北高から頂いた生徒の感想の一部を以下にご紹介します。

* 垂井北中の先輩のお話が聞けて嬉しいです。
* 日本と世界のかげはしとなるような人が北高の先輩にいます。すごいと思いました。私もがんばりたいです。

* 自分のやりたいことを自分で否定しなくて良いと言われたことがすごく響きました。私は自分に自信がなくて否定ばかりしてしまっから救われたような気持ちになりました。

* 海外で働くということの魅力が分かったような気がする。

北高からは、ビデオメッセージの制作を今後も継続するよう依頼されています。

福澤賢治(北高二十七回生)

ビデオメッセージ講演者一覧

(卒業年次順・敬称略)

| 講演者 | 出身中学 | 卒年次 | 所属 | タイトル |
|--------|---------|-----|----------------------------|--|
| 所 功 | 揖斐川町小島中 | 11 | 京都産業大学名誉教授 | 名著に学ぶ ー内村鑑三著『代表的日本人』との出会いー |
| 川瀬 英司 | 高田中 | 20 | 元 パナソニック F S ヨーロッパ社 社長 | 電機メーカー海外営業マンから 国際経営戦略マネジメントコンサルタントへ |
| 澤 祥幸 | 赤坂中 | 27 | 岐阜市民病院診療局長 岐阜大学医学部教授 | 君が生きたかった時を探して |
| 三和 裕美子 | 今須中 | 35 | 明治大学商学部教授 | 固定観念からの脱却、そして転職にめぐりあうまで |
| 古田 善一 | 高田中 | 38 | ファーストリテイリング (ユニクロ) 執行役員 | グローバルでチャレンジし続けて感じた 国境の無いチームワークの大切さ |
| 清水 達也 | 東安中 | 38 | JETRO | 世界で活躍する 日本貿易振興機構 (JETRO) |
| 石川 雅啓 | 垂井北中 | 44 | | |
| 水谷 俊博 | 大垣南中 | 46 | | |

母校(北高)の近況

今春(令和三年四月)着任された鈴木彰校長先生に、コロナ禍での北高についてお聞きしました。

—— 校長先生、関東同窓会です。コロナ禍での北高の様子を教えてください。

校長 この春赴任した鈴木です。よろしくお願ひします。コロナは現在、校内感染はないですが、デルタ株の感染拡大で、夏休み後も生徒は登校できずWEB学習となりました。北高祭など延期せざるを得ません。昨年度は修学旅行などの行事が全て中止になったので、今年度はできる範囲内で実施したいと考えています。

—— 岐阜県ではWEB学習が進んでいると聞いていますが。

校長 生徒全員にタブレットが貸与され、授業のライブ配信ができています。北高は、昨年度来県下で最も早くWEB学習に取り組み、今夏も質の高い学習を提供しています。回線の都合で一人の教員が学年全体または文理別に授業を行います。どの教員もよりよい授業にしようと工夫しています。

—— 海外との交流はどうでしょう？

校長 ここ数年行ってきたベトナム・カンボジア研修は実施困難で、代替案を考えています。関東同窓会作成のビデオを拝聴し、海外で活躍されている方が大勢

いることが再確認できましたので、同窓生の方に協力いただき、後輩の世界的な視野の広がりを支援していただければ、ありがたいです。

—— この一年で大きな出来事はありますか？

校長 昨冬、所功先生(北高十一回生・京都産業大学名誉教授)より、一千万円相当の学習機器の寄贈を受け、協働的な学びが実践できる教室を整備しました。探究活動に生かしていきます。

—— コロナは首都圏進学に影響を与えていますか？

校長 北高の場合、答えはNO!です。首都圏大学への進学者数は、第六十八回生(二〇一七年卒)が三十一名(九・七%)、第七十回生(二〇一九年卒)が三十一名(九・六%)、コロナ禍の今春卒業の七十二回生は三十六名(十一・四%)でした。強い意志をもって首都圏に進学しています。貴会では大学新入生に歓迎会を開催され、心強い支援に感謝いたします。

—— コロナ禍での学校は大変かと思えます。ありがとうございました。



鈴木 彰校長先生



の贈り物として、椅子・ボード機・ホワイトボードが寄贈されました。

令和三年(第四五回)総会のご案内

開催期日 令和三年十月八日(金)

開催方法 書面総会(会員へ資料送付)

議題 一、令和二年度事業報告

二、令和二年度会計報告

同 監査報告

三、役員改選(会長選任)

四、令和三年度事業(案)

五、会員制度の改定

六、令和三年度予算(案)

◇ 令和元年までの三年間に会費納入の方へ総会資料を送付しています。

◇ 本年も会費は徴収いたしません。寄付金の納入いただければ幸いです。

あとがき

昨年来のコロナ禍で生活様式の変化が迫られる中、未来に向けた明るい変化の兆しも感じ始めています。

当同窓会幹事会も、ウェブ会議を中心とした運営を通じて、卒業後間もない学生さんへのリモート歓迎企画や、社会経験を積んだ卒業生へのインタビュ動画の提供等、幅広い世代の皆さんとの接点を模索し始めました。

リモート化やデジタル化が進展する中、高校生活を同じ場所でも過ごした点でつながった同窓会の存在を通じ、世代間を超えて語り合える場を継続的に提供できればと思います。

永井卓哉(北高三十八回生)